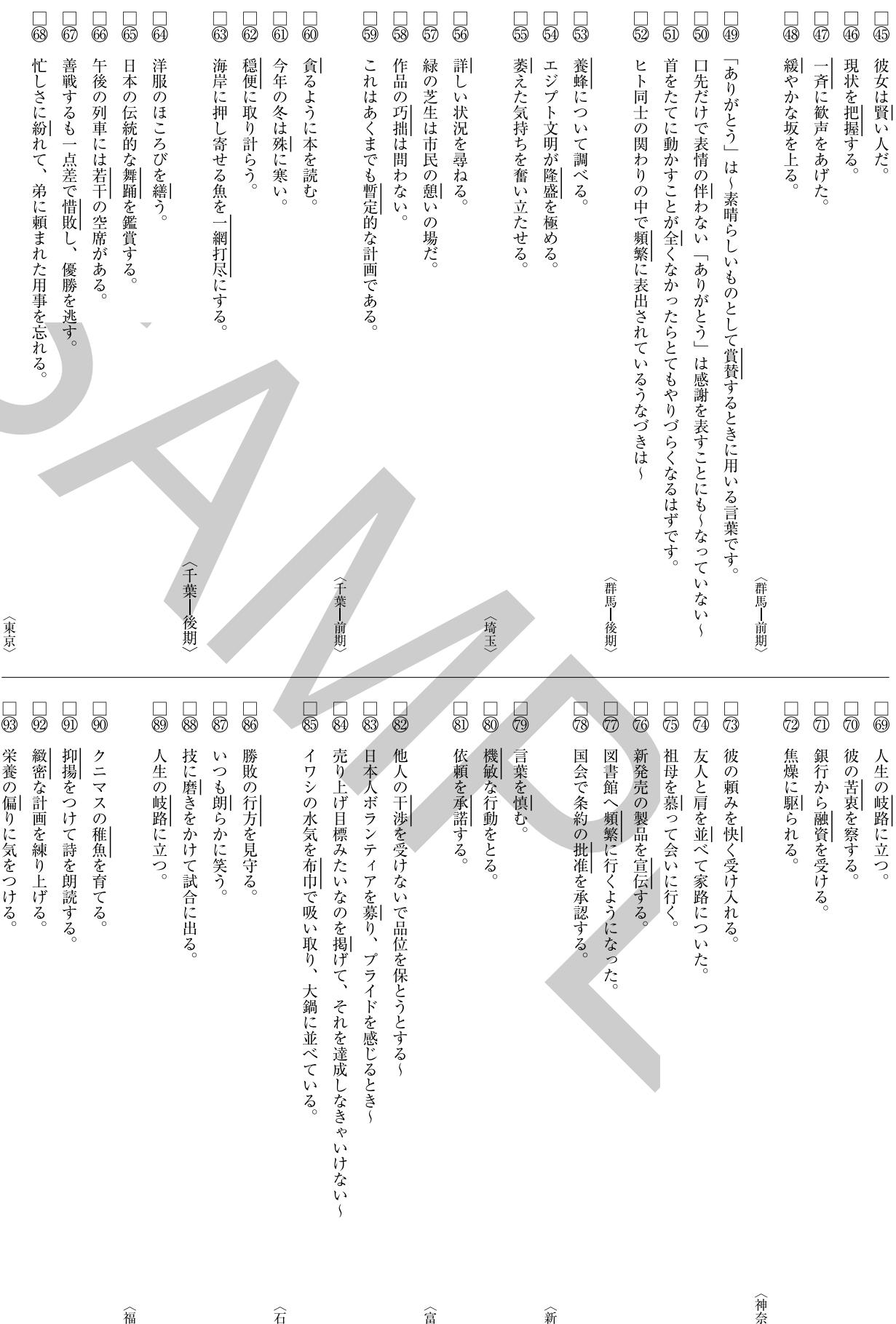


# 国語

## ○ CONTENTS ○

1 漢字の読み書き(1)	2
2 漢字の読み書き(2)	11
3 漢字の読み書き(3)	20
4 漢字の知識(1)	29
5 漢字の知識(2)	31
6 漢字の知識(3)	33
7 熟語の知識(1)	36
8 熟語の知識(2)	39
9 熟語の知識(3)	42
10 語句の知識(1)	45
11 語句の知識(2)	48
12 語句の知識(3)	51
13 文法の知識(1)	53
14 文法の知識(2)	58
15 文法の知識(3)	63
16 現代仮名遣い(1)	68
17 現代仮名遣い(2)	69
18 現代仮名遣い(3)	70
19 国語の諸知識(1)	71
20 国語の諸知識(2)	73
21 国語の諸知識(3)	76





- ⑨5 対話の中から得たものは、私たち  
□ ⑨6 自分の周囲の社会という場、  
□ ⑨7 社会という場と絶えずつながつて  
□ ⑨8 対話 dialogue の語源は、ギリシア  
□ ⑨9 思想の中心的位置を占めるのは、  
□ ⑩0 たえず十分に考慮し、話している  
□ ⑩1 自然の恩恵を受ける。  
□ ⑩2 新しい目標を掲げる。  
□ ⑩3 歩きながら額の汗を拭う。  
□ ⑩4 試合の均衡が破れる。  
□ ⑩5 汎用性の高い方法を使う。  
□ ⑩6 炊事場のかめに水を蓄えておくく  
□ ⑩7 手ごろな石を敷いて様子を見た。  
□ ⑩8 自分の解釈を加えて、  
□ ⑩9 世界中で生涯スポーツが奨励され  
□ ⑪0 涼しい風が吹く。  
□ ⑪1 しばらく休憩を挟む。  
□ ⑪2 克明に記録する。  
□ ⑪3 木の枝が揺れる。  
□ ⑪4 自転車のハンドルを握る。  
□ ⑪5 大会の結果が新聞に掲載される。

山梨

三重一後期

出席者に賛否を問う。

ひもを束ねる。  
[119]

□(13) 畑を耕す。  
□(14) 要求を遮げる。

□ (122) 弟の書いた作文を添削する。

11 of 11

(123) 芭蕉の風雅に臨む姿勢を主人公に投影させり

月琴の音楽研究

□(125) 代々の家系によつて受け継がれ、幼いころから

120 泳くうえでは都合が良い形です。

□ (123) 少しでもからだのこぼこが減つて、より水の抵抗が小さくなるわけです。

ひよっこり姿を現しそうな可愛らしい風景だ。

□ (130) 小さい頃から、別荘に来るたびに舟をこいでいたからね。

□ (13) 自分の行きたい方向と客船の行く先が一致している場合は( )

山が途切れ、沢になつておおり、唐突に海に入つていく場所だった。

□ (13) 低空のグライダー滑空をしながら、私たちの真上を飛んでゆく。

□(134) その中の一羽、際立つて美しかつた一羽が(

□ 136 様々な思考を巡らせることが必要です。

□ (137) 納得に至る意味づけを模索し続けています

□ (138) 大空を自由に飛びまわる鳥の姿を想像しながら――

〔13〕九州の人は依然として「やうはり うまかな」と舌づみを打つて、

卷之三

大  
阪  
特  
選  
A

□ (14) 家屋には、普通、玄関があり居間があり台所があり→  
 □ (15) 文章表現上の暗黙のルールといえば→  
 □ (16) 評論家などの作品を丹念に読んでみると  
 □ (17) それはペダンチックな人の陥る誤解である。  
 □ (18) 古典を顧みないというのは固より悪いことである→  
 □ (19) 知識欲の旺盛を示すものであつて排斥すべきことではない→  
 □ (20) 弁明しようとしたはつちを赤緒が辛辣な口調で遮る。  
 □ (21) 赤緒がふいと顔を背けた。

□ (22) そんな挨拶を交わして、いつものようにお茶の先生の家を出→  
 □ (23) 飛行機が旋回する。  
 □ (24) まだ寒の戻りもある→  
 □ (25) 絶好の日和に恵まれる。  
 □ (26) 風景を描写する。  
 □ (27) 友人を論ず。

□ (28) 甘い香りが漂う庭に足を踏み入れる。  
 □ (29) 優雅な身のこなしに思わず見とれる。  
 □ (30) 昨日の失敗について謝る。  
 □ (31) 国道の車の流れが滞る。  
 □ (32) この神殿の周辺は聖域とされている。  
 □ (33) 選手の出場資格を剥奪する。  
 □ (34) 道が狭まる。  
 □ (35) 文章の添削指導を受ける。

□ (36) もう少し詳しい説明を求めたりします→  
 □ (37) 自慢して自分の崇拜者を得ようとする。  
 □ (38) 夢心地がクラブの休憩室へ入ったとたんに崩れてしまった。  
 □ (39) 何かがその空想の邪魔をしているのが感じられる。  
 □ (40) 小説が雑誌に掲載される。  
 □ (41) 激しい葛藤や対立が起きることもある。  
 □ (42) 貴重な時間を割いていただく。  
 □ (43) 目標を掲げる。  
 □ (44) 明治時代の趣が残る通りだ。  
 □ (45) 休憩時間になり、水泳帽を被つた→  
 □ (46) 示唆に富む話を聞く。  
 □ (47) 使用する頻度が高い。

□ (48) 真っ赤なケチャップに、涙が垂れる。  
 □ (49) 体験時間になり、水泳帽を被つた→  
 □ (50) 母がまた唐突に言つた。  
 □ (51) 今日の母は、まるで友達みたいな口調で話す。

□ (52) 新入生を部活動に勧誘する。  
 □ (53) 煩雜な手続き。  
 □ (54) 弟は皆が羨むほど足が速い。  
 □ (55) 脈を診る。

□ (56) 果敢に挑戦する。  
 □ (57) 郷土の誉れとなる。

□ (58) 顕著な変化が現れる。

〈大阪—一般A〉

〈岡山—特選〉

〈大阪—一般B〉

〈岡山〉

〈島根〉

〈鳥取〉

〈和歌山〉

〈奈良〉

〈兵庫〉

〈山口〉

〈徳島〉

〈高知〉

〈愛媛〉

- (185) 涼しげな表情。
- (186) 西洋のノベルの訳語に「小説」の語を宛てるのが次第に一般化していく。
- (187) 厳密に考えると矛盾だらけになつてしまふのだが、
- (188) 日本語の時制が一見曖昧に見えるのは、
- (189) 遺伝子の突然変異は頻繁に起きており、
- (190) 思想の力の有無は決まつてゐるのです。
- (191) 慌てて頭を下げた。
- (192) これは絵画にも同様に言えます。
- (193) 個人の内面を吐露するのが日記であるという考え方にはいささか単純です。
- (194) 深夜の沈黙は私を厳肅にする。
- (195) 私の前には机を隔ててお前たちの母上すわが坐つてゐる、
- (196) 気を緩めないよう戒める。
- (197) 描写が精緻を極めている。
- (198) 学問を奨励する。
- (199) 人形を巧みにあやつる。
- (200) 人類はその謎に挑みつづけてきたのだ。
- (201) 星子が語り終えるまで青柳あおやぎは辛抱強く耳を傾けた。
- (202) ただ狭い車内で、自分の立ち位置を決めた瞬間、
- (203) なまあたたかい空気にただ浸つてゐるのを、いつたんやめる、
- (204) 工夫を凝らす。
- (205) 試合に臨む。
- (206) 依頼を快諾する。

〈佐賀—特色〉  
〈高知—B〉

- 2 次の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。
- (207) 木の実を拾う営み、すなわち漁労も含めて狩猟採集を行つてきた。
- (208) 作物を収穫する農耕、そして家畜を飼育する牧畜も行つてきた。
- 〈沖縄〉

〈鹿児島〉  
〈北海道—裁量〉

- (1) アサガオのつるがフクザツにからみ合つてゐる。
- (2) 私たちの地域ではあいさつ運動をスイシンしている。
- (3) 風に乗つてタンボボの綿毛が遠くまでトばされる。
- (4) 犬も歩けばボウに当たるといふことわざがある。
- (5) 自分にとつては陳腐な表現に思えることに、他人が大感激してシラけることもある。
- (6) 卒業生の前途をシユクフクする。
- (7) キゲキ映画を鑑賞する。
- (8) レコード会社とセンゾクの契約を結ぶ。
- (9) ニガワライを浮かべる。
- (10) 日光をアびる。
- 〈宮崎—推薦〉  
〈大分〉  
〈熊本〉  
〈長崎〉  
〈北海道—裁量〉  
〈青森〉  
〈岩手〉  
〈宮城—前期〉

- (19) 注意事項をネントウに置いて行動する。
- (20) 贈り物を紙で丁寧にホウソウする。
- (21) ああ、なんでそんなタンジュンなことに気づかなかつたんだろう。
- (22) いろんなものを背負いこんでしまつたマズしい画家の背中。
- (23) 先人の知恵をかり、社会の中でさまざまな人と記憶を共有する。
- (24) この本もまた、そのためにソンザイしている。
- (25) 「日がクれそう」と表現することはあつた。
- (26) 試しに何冊か国語ジテնを引いてみる。
- (27) 朝食は元気のミナモトだ。
- (28) 専門家に判断をユダねる。
- (29) 食品を冷蔵庫にホゾンする。
- (30) リンキ応変に対応する。
- (31) バスのウンチンを払う。
- (32) 親に荷物をアズける。
- (33) 姉に手伝つてもらえたのでタスかつた。
- (34) 瀬戸内海エンガンの町を訪れる。
- (35) 学校全体でごみのゲンリョウに取り組む。
- (36) 点差がチヂまらないのは、諦めじゃないのか?
- (37) もつともムズカしい状況でも、彼女なら決められるはずだ。
- (38) 先輩たちは、視線をオヨがせる。
- (39) ホームランをウツ。
- (40) ヤツキヨクに行く。
- (41) 羊をホウボクする。
- (42) 法律のセンモン家。

- 〈宮城→後期〉
- (43) 心をフルい立たせる。
- (44) 荷物をトドける。
- (45) シャワーをアびる。
- (46) 銀行にシユウショクする。
- (47) 人工エイセイを打ち上げる。
- (48) 二人の性格はニでいる。
- 〈秋田→前期〉

- （漢字に送り仮名を付けて書くこと）
- （漢字に送り仮名を付けて書くこと）
- (49) 魚屋をイトナム。
- (50) 観光地をオトズレル。
- (51) メンミツな計画を練る。
- (52) 相手の意見をソンチヨウする。
- (53) 国家間で互いのケンエキを争う。
- (54) 的をいた質問をする。
- (55) 彼は調査隊をヒキいて北極点を目指した。
- (56) ケワしい山道を登る。
- (57) 飛行機のモケイを作る。
- (58) セツビの整つた体育館で練習する。
- (59) 簡単にできると思っていても、ユダンタイテキだ。
- (60) ごはんをよくムラす。
- (61) 体操で体を弓なりにソラす。
- (62) 鉄道のウンチンを調べる。
- (63) 客船がキテキを鳴らす。
- (64) ランオウに砂糖を混せてお菓子を作る。
- (65) 浜辺で美しい貝殻をヒロう。
- (66) 母のキヨウリから、みかんが届く。

- 〈栃木〉
- 〈茨城〉
- 〈福島〉
- 〈山形〉
- 〈秋田→一般〉
- 〈千葉→後期〉
- 〈群馬→前期〉
- 〈埼玉〉

- (67) 今年の春から、姉は図書館にキンムする。  
 □ (68) 幼い妹たちの言い争いをチュウサイする。  
 □ (69) 帰宅すると、愛犬がイキオいよく駆け寄ってきた。
- (70) 自分が住む町の歴史をシラべる。  
 □ (71) ひまわりの種からメが出た。
- (72) ガリレオは地動説をトナえた。
- (73) プールにスイエイの選手が集まる。
- (74) 医学の発展にコウセキを残す。
- (75) 職人のエンジユクした技を継承する。
- (76) オサナい弟の世話をする。
- (77) 紅茶にサトウを入れる。
- (78) 演奏を口クオンする。
- (79) 日本人とは異なる国民性がハンエイされている可能性）  
 □ (80) 年齢をへれば、あるいは社会的地位が向上すれば、  
 □ (81) お客様の多くが固定客、ジョウレン客になつてくださる  
 □ (82) 当てがハズれ困惑している感じだった。
- (83) 知的ザイサンを保護する。  
 □ (84) 決勝戦を前にフルい立つた。
- (85) 文学作品をヒヒヨウする。
- (86) チームがイチガンとなつて戦う。
- (87) 健康は私のザイサンだ。
- (88) 顕微鏡のバイリツを上げる。
- (89) 文学作品をヒヒヨウする。
- (90) 的をいた質問をする。
- (91) いつも笑顔をタやさない。
- (92) ケッキョク、二句披露したところで試合が終わつてしまつた  
 □ (93) 水のイキオいがよすぎて、ホースがどこへ飛び跳ねるかわからない
- (94) 美しい景色に心がナゴむ。
- (95) 船のキテキが聞こえる。
- (96) 被災地のフッコウを急ぐ。
- (97) 消費者のコンランを招く。
- (98) 海岸にソつた道を歩く。
- (99) 山を照らしていた日差しが、いつの間にかイタダキにのぼりつめて、  
 □ (100) その「粘り強さ」をハグクむのが遊びだ。
- (101) どんなにセイミツな具象画でも、目にした世界を、  
 □ (102) 近くの海岸で初日の出をオガむ。
- (103) 先日、宇宙飛行士が自らの体験を語るコウエン会が催された。  
 □ (104) チャイムが時をツげる。
- (105) 健闘をイノる。
- (106) 自然のオンケイを受ける。
- (107) お年寄りをウヤマう。
- (108) 結論をミチビく。
- (109) 家と学校をオウフクする。
- (110) 花屋のカンパンを見つける。
- (111) 魚をヤいて食べる。
- (112) 衣類を箱にシユウノウする。
- (113) 昨日ユウビン物が届いた。

（三重→前期）  
 （愛知→A）  
 （愛知→B）  
 （静岡）  
 （岐阜）  
 （長野）  
 （山梨）

- (14) 空が赤くソまる。  
 □(15) ウチュウ飛行士になる。
- (16) これらの実ショウデータを引きながら
- (17) 作品を残すことが最ティ条件であり
- (18) 荷物をソウコで保管する。
- (19) 準備の時間をタンシユクする。
- (20) 腹のソコから笑う。
- (21) 書店をイトナむ。
- (22) 山頂から遠くをノゾむ。
- (23) 友人から鉛筆をかりる。
- (24) 資料をティキヨウする。
- (25) 箱のスンボウをはかる。
- (26) フシをつけて歌う。
- (27) 風が校庭にある花をチラす。
- (28) 公共のリエキを図る。
- (29) 降水カクリツを調べる。
- (30) 猫の尾がタれている。
- (31) 集團をヒキいる指導者は必要だ。
- (32) リンカイ工業地帯を見学する。
- (33) 人工エイセイを打ち上げる。
- (34) マット運動の授業でソクテンに挑戦する。
- (35) 全国大会のマクが開く。
- (36) 極く素朴なスガタがあまり見られなくなつてしまひました。
- (37) 知っているだけでなしに、それらに対してヒヒヨウもします
- (38) 急に好意的なヒヒヨウも心にうかんで来て
- (39) 顔を上げたところに何事かとヨつてきた馬上のあの烈しい視線があつたので
- (40) 音楽に心を開くことも、タビをすることも
- (41) 豊かな感性をハグクむ。
- (42) 祖母はオンコウな人柄だ。
- (43) ヒタイに汗をかく。
- (44) 自然をウヤマう心を育む。
- (45) 歌曲をリンショウする。

〈大阪—一般B〉

〈大阪—一般A〉

〈大阪—特選B〉

〈京都—前期〉

〈滋賀〉

〈京都—中期〉

〈奈良〉

〈大阪—一般C〉

- (46) 胸の奥が冷えて、ハイの在りかをはつきりと感じた。
- (47) 目には見えない香りが、マドを閉めた部屋の中にも

- (48) 体館のソウコ。
- (49) ヒタイに汗をかく。
- (50) 煙をタガヤす。
- (51) 土地をバイバイする。
- (52) 調理実習でキヤベツをキザむ。
- (53) 最寄りの係員までシキュウご連絡ください。

〈島根〉

〈和歌山〉

〈奈良〉

〈岡山—特選〉

〈岡山〉

〈鳥取〉

- (54) 贈り物のホウソウ紙を選ぶ。

	〈山口〉
	<p>□ (159) ヒタイに汗がにじむ。</p> <p>□ (160) イサましいかけ声が響く。</p> <p>□ (161) 彼はキンベンな人だ。</p> <p>□ (162) 課題曲をエンソウする。</p>
	<p>□ (163) 各人が各人コユウの価値観を生得的にもつてゐるわけではない。</p> <p>□ (164) 知らず知らずに受ける影響が大きなヒジュウを占めていると思われる。</p> <p>□ (165) 自分の純化のココロみは失敗に終わるしかない。</p> <p>□ (166) 他人による保護、ヨウイクをどうしても必要とする</p>
	<p>□ (167) ピアノをエンソウする。</p> <p>□ (168) ユウビン切手を集める。</p> <p>□ (169) ほめられてテレル。 (送り仮名が必要なものは、送り仮名を付けること)</p> <p>□ (170) 町がサカエル。 (送り仮名が必要なものは、送り仮名を付けること)</p>
	<p>□ (171) 条件をレッキヨする。</p> <p>□ (172) 一歩シリグく。</p>
	<p>□ (173) キンベンな学生。</p> <p>□ (174) 成功にミチビく。</p>
	<p>□ (175) 仮に世界がある一つの立場から統括し、整合的に語ることが可能であり、なおかつそのようにツトめなければならない、と考えるところに「近代」という時代の理念があつたとするなら、</p>
	<p>□ (176) 絶滅してしまうキケン性が大きくなります。</p> <p>□ (177) 不適切なものは切りスッて、適応できるものを拡大させる</p>
	<p>□ (178) みんなシキュウされたゴマ付きのおにぎりを持つて、</p>
	<p>□ (179) ヒタツに汗がにじむ。</p> <p>□ (180) イサましいかけ声が響く。</p> <p>□ (181) 私の前にはツクエを隔ててお前たちの母上<small>が</small>坐<small>すわ</small>つてゐる</p>
	<p>□ (182) 行け。イサンで。小さき者よ。</p>
	<p>□ (183) 私は本件では反対ハである。</p> <p>□ (184) 山頂から初日<small>はじ</small>の出<small>で</small>をオガム。</p> <p>□ (185) ゲンカクな親に育てられる。</p>
	<p>□ (186) メンミツな計画を立てる。</p> <p>□ (187) 生徒を客席にミチビク。 (送りがなが必要なものは、ひらがなで正しく送ること)</p> <p>□ (188) 「汝<small>あなた</small>自らを知<small>し</small>れ」というカクゲンが刻<small>く</small>まれていた。</p>
	<p>□ (189) 脳の働きとかDNAのシクみとか</p>
	<p>□ (190) 台座にアサく腰かけて、</p> <p>□ (191) どうしても星への思いをス<small>ス</small>てられなかつた。</p> <p>□ (192) 混んだ車内でもそこにいない他者とコウシンしたりゲームを楽しんでいます。</p>
	<p>□ (193) 努力する人をソンケイする。</p> <p>□ (194) 団子をおソナえする。</p>
	<p>□ (195) 卒業記念にシヨクジユをする。</p>
	<p>□ (196) チームの雰囲気を高めるどころか、クズしてばかりいる。</p> <p>□ (197) みんなに気を配りいつもみんなの状況をハアクしょうと心掛けた。</p>
	<p>□ (198) 〈佐賀〉</p>
	<p>□ (199) 〈佐賀→特色〉</p>
	<p>□ (200) 〈高知→A〉</p>
	<p>□ (201) 〈高知→B〉</p>
	<p>□ (202) 〈愛媛〉</p>
	<p>□ (203) 〈香川〉</p>
	<p>□ (204) 〈徳島〉</p>
	<p>□ (205) 〈熊本〉</p>
	<p>□ (206) 〈長崎〉</p>
	<p>□ (207) 急ぎ足で寄宿舎のウラに向かつた。</p> <p>□ (208) 第三者というものを前提としない活動の持続も、センモン的な行為の成立もない</p>
	<p>□ (209) 行け。イサンで。小さき者よ。</p>
	<p>□ (210) 私の前にはツクエを隔ててお前たちの母上<small>が</small>坐<small>すわ</small>つてゐる</p>
	<p>□ (211) 行け。イサンで。小さき者よ。</p>
	<p>□ (212) 私は本件では反対ハである。</p>
	<p>□ (213) 山頂から初日<small>はじ</small>の出<small>で</small>をオガム。</p>
	<p>□ (214) ゲンカクな親に育てられる。</p>
	<p>□ (215) メンミツな計画を立てる。</p>
	<p>□ (216) 生徒を客席にミチビク。 (送りがなが必要なものは、ひらがなで正しく送ること)</p>
	<p>□ (217) 「汝<small>あなた</small>自らを知<small>し</small>れ」というカクゲンが刻<small>く</small>まれていた。</p>
	<p>□ (218) 脳の働きとかDNAのシクみとか</p>
	<p>□ (219) 台座にアサく腰かけて、</p>
	<p>□ (220) どうしても星への思いをス<small>ス</small>てられなかつた。</p>
	<p>□ (221) 混んだ車内でもそこにいない他者とコウシンしたりゲームを楽しんでいます。</p>
	<p>□ (222) 努力する人をソンケイする。</p>
	<p>□ (223) 団子をおソナえする。</p>
	<p>□ (224) 卒業記念にシヨクジユをする。</p>
	<p>□ (225) チームの雰囲気を高めるどころか、クズしてばかりいる。</p>
	<p>□ (226) みんなに気を配りいつもみんなの状況をハアクしょうと心掛けた。</p>
	<p>□ (227) 〈鹿児島〉</p>
	<p>□ (228) 〈沖縄〉</p>
	<p>□ (229) 〈宮崎→一般〉</p>
	<p>□ (230) 〈長崎〉</p>